

朝日新聞 2015年6月20日 朝刊 29ページ ちば首都圏

# 「軍郷」から「学都」変遷示す

## 習志野、写真や資料200点展示

### 戦後70年



終戦70周年展を見学する高校生  
＝習志野市市民プラザ大久保

習志野市大久保の市民プラザ大久保で19日、企画展「終戦70周年 軍郷から学都へ」が始まった。同プラザの主催で、兵舎が学舎になった70年の変遷を示す写真や資料200点を展示。旧陸軍の騎兵旅団跡地に戦

後一時置かれた東洋学園大(東京・本郷)の前身、旧東洋女子歯科医専の解説もあり、20日、同大と東邦大の講演がある。

大久保地区には明治期に騎兵第13、16連隊が置かれ、終戦まで兵舎が立ち並んでいた。戦後は東邦大や付属東邦中学・高校、日大になった。

地元では、第14連隊跡地

に日大が設置される前の旧東洋女子歯科医専と旧制東洋高校の存在はあまり知られていなかった。東洋学園大史料室と連携し、連隊の門扉にかかる医専看板の写真や見取り図などを地元で初めて公開した。

20日の講演会は午後2時からで、テーマは「昭和20年代の日本」(東邦大付属東邦中学・高校教諭の山岸良二さん)、「騎兵第14連隊跡にあった『大学』」(東洋学園大史料室の永藤欣久さん)など。資料代300円。問い合わせは同プラザ(047・470・8171)へ。

©朝日新聞社 無断複製転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。